

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 140006

在宅看護方法論 I Home Care Nursing I

| | | | | | |
|---------------|--|-----|----|------|----|
| 担当教員 | 桜井志保美、日高末希恵、牛村春奈 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 開講年次 | 2年次後期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 講義 |
| 必修・選択 | 必修 | 時間数 | 15 | | |
| Keywords | 在宅療養者とその家族の生活の理解、在宅での基本的な生活援助技術 | | | | |
| 学習目的・目標 | 【目的】 在宅看護の対象である在宅療養者・要介護者とその家族への理解を深めるとともに、在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について講義・演習を通して修得できる。 【目標】 1.在宅ケアに関連する基本的な概念や法制度を理解する。 2.在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術を修得する。 | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | |
| 回 | 内容 | | | | |
| 1 | 在宅療養者とその家族の生活 ・在宅療養者とその家族の生活状況、家族による介護状況、援助者による援助の状況について理解を深める | | | | |
| 2 | 在宅療養者の生活を支える基本的な技術 ・在宅における面接技術、在宅における観察・アセスメント ・コミュニケーション、環境整備、生活リハビリテーション | | | | |
| 3 | 在宅看護にかかわる法令・制度 ・介護保険制度 ・ケアマネジメントの定義、在宅ケアシステム、ケアマネジメントの構成要素、社会資源について、ケアマネジメントの展開過程 | | | | |
| 4 | 訪問看護の実際 ・訪問看護制度 ・訪問看護の展開 ・訪問看護サービスの提供 | | | | |
| 5-8 | 在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術（演習） ・食と排泄 ・活動と休息 ・清潔と衣生活 | | | | |
| 教科書 | 河原加代子他：系統看護学講座 在宅看護論、医学書院 鈴木和子・渡辺裕子著：家族看護学—理論と実践—、第5版、日本看護協会出版会 | | | | |
| 参考図書等 | | | | | |
| 評価指標 | 1. 課題およびレポート25% 2. 定期試験75% | | | | |
| 関連科目 | 在宅看護学概論・家族看護論・在宅看護方法論演習・在宅看護学実習 | | | | |
| 教員から学生へのメッセージ | 在宅看護方法論は、在宅看護関連科目、既習した看護の基本や看護援助の方法を踏まえて、在宅で応用してゆく看護方法を学びます。 課題等を通し主体的に学びながら、在宅特有の看護方法の修得に努めましょう。 | | | | |